

高知県感染症発生動向調査（週報）

2016年 第19週 （5月9日～5月15日）

★お知らせ

○百日咳に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第18週の0.00から第19週では0.20となっています。高知県全域と、幡多、中央西、高知市では注意報値を超えています。

病原体検出情報では*Bordetella pertussis*（百日咳菌）が2例検出されています。

百日咳は、感染力が強いので注意してください。予防対策はうがい、手洗い、咳エチケットです。

生後6ヶ月未満の乳児では、無呼吸発作等、重篤になることがあります。

軽症でも菌の排出はあるため、予防接種をしていない新生児、乳児がいる場合は感染に対する注意が必要です。

感染予防のためにワクチン接種をお勧めします。ワクチンは生後3ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

○流行性耳下腺炎（おたふく風邪）に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は、第18週の0.70から第19週では0.53と減少していますが、須崎、中央西では増加し、須崎では注意報値を超えています。

流行性耳下腺炎は、3～6歳の小児に多い感染症です。耳の下やあごの下の腫れと痛みが特徴です。

通常、1～2週間で軽快しますが、まれに無菌性髄膜炎、難聴、精巣炎等の合併症を起こすことがあります。思春期以降にかかった場合、男性では睾丸炎、女性では卵巣炎を併発する等、重症化する場合があります。

咳などのしぶきによる飛沫感染と、唾液で汚れた物への接触等による接触感染があり、感染力はとても強いです。予防対策には、手洗い、うがいを励行しましょう。また、任意による予防接種がありますので、かかりつけ医療機関にお尋ねください。

○インフルエンザについて！

定点医療機関当たりの報告数は、第18週の0.69から第19週では0.25と急減していますが、安芸では増加しています。第18週は大型連休に伴う、休診の影響が否定できないため、推移を見守っていたところですが、第19週も引き続き減少し、高知県全域と全保健所管内で1.00を下回りました。

通常の年では、12月頃から流行し始めるインフルエンザですが、今シーズンは全国的に流行の開始が遅く、高知県でも1月の後半からA型インフルエンザが、またほぼ同時にB型インフルエンザも流行し始めました。

その後、3月初旬からB型インフルエンザが患者の多くを占めるようになりましたが、4月中旬からは患者数も減少し、ゴールデンウィークを過ぎた現在、ようやく終息に向かいつつあります。

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第18週の3.47から第19週では3.87とほぼ横ばいですが、安芸、中央東、高知市、須崎で増加しています。定点医療機関からのホット情報では、ロタウイルスが7例報告され、また基幹定点医療機関からの感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）も4例報告されるなど、ロタウイルスの報告が多くなっています。

ロタウイルス感染性胃腸炎は、通常2日間の潜伏期間をおいて発症し、主に乳幼児に急性胃腸炎を引き起こします。

感染を広げないためには、オムツの適切な処理、手洗いの徹底などが必要です。手洗いは指輪や時計をはずし、石けんで30秒以上もみ洗います。衣類が便や吐物で汚れたときは、次亜塩素酸ナトリウム（家庭用塩素系漂白剤）でつけおき消毒した後、他の衣類と分けて洗濯しましょう。ロタウイルスにはアルコールなどの消毒薬はあまり効き目がありません。

予防対策には、任意による予防接種がありますので、かかりつけの医療機関にお尋ねください。

感染性胃腸炎の予防対策

- ・ 手洗いの励行：排便後、調理の前、食事の前、帰宅時など。
- ・ 吐物の適切な処理：使い捨ての手袋、マスク、エプロンを着用し、汚染された場所を消毒する
- ・ 食品の十分な加熱：二枚貝などの食品は、中心温度が 85℃から 90℃で 90 秒以上加熱する。
- ・ タオルの共用を避ける。
- ・ 症状がある方は、食品の調理をできるだけ控える。

★マダニの感染症(日本紅斑熱・SFTS)注意！

日本紅斑熱 1 例の届け出がありました。

これらの感染症はマダニが媒介する感染症です。

すべてのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、ダニに咬まれないようにすることが感染の予防になります。

マダニの活動が盛んな季節となりましたので、野山や畑、草むらなどに出かけるときは、次のことに注意しましょう。

▼長袖・長ズボンを着用し、肌の露出を少なくする。

▼マダニ用の忌避剤を使用する。

▼帰宅後は、すぐに入浴してマダニに咬まれていないか確認し、新しい服に着替えましょう。

▼吸血中のマダニを見つけたら、無理に引き抜こうとするとマダニの体液が逆流させてしまったりする恐れがあるので、医療機関を受診し、処置してもらってください。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～2週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに刺されたこと）を申し出て下さい。

●高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

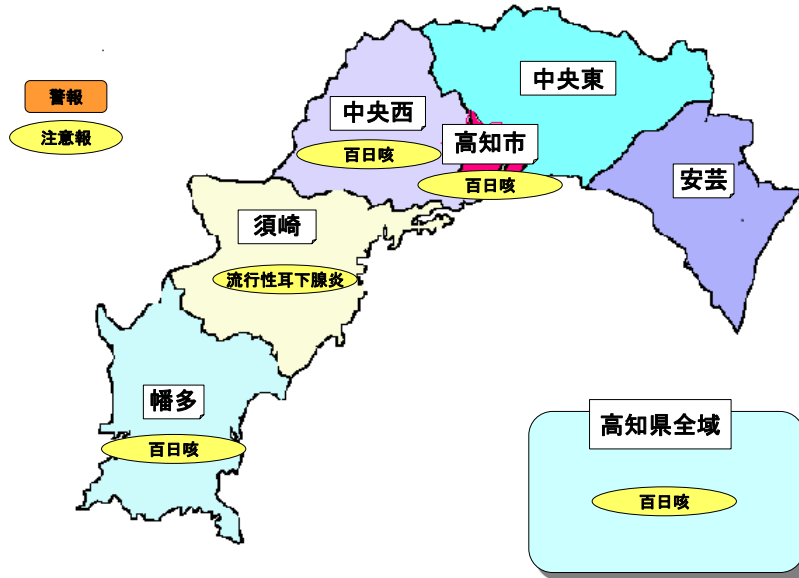
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ：急増 ：増加 ：横ばい ：減少 ：急減
19週（5月9日～5月15日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎		3. 8 7	安芸、中央東、高知市、須崎で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1. 8 3	中央西、中央東、安芸では増加しています。
流行性耳下腺炎		0. 5 3	須崎、中央西で増加し、須崎では注意報値を超えています。
突発性発疹		0. 4 3	中央東、幡多では増加しています。
水痘		0. 3 3	中央西、高知市で増加しています。

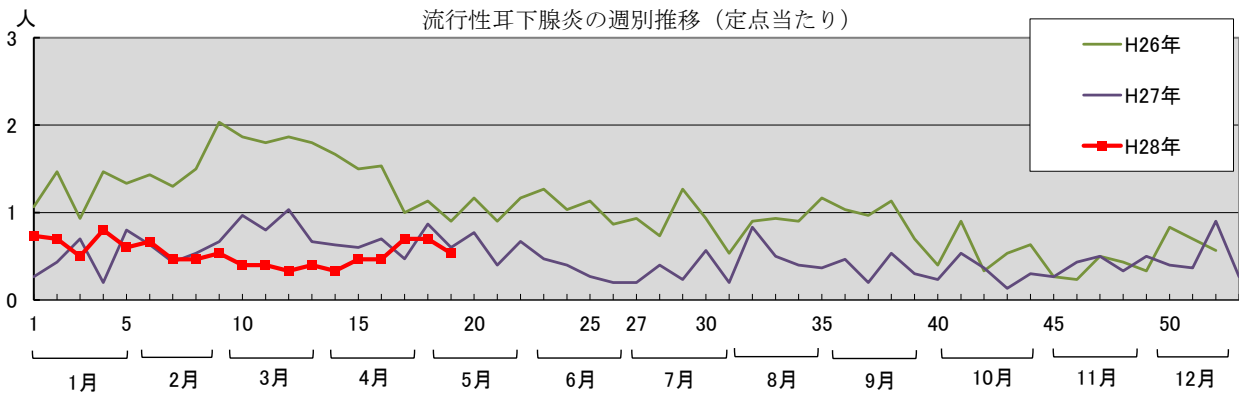
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

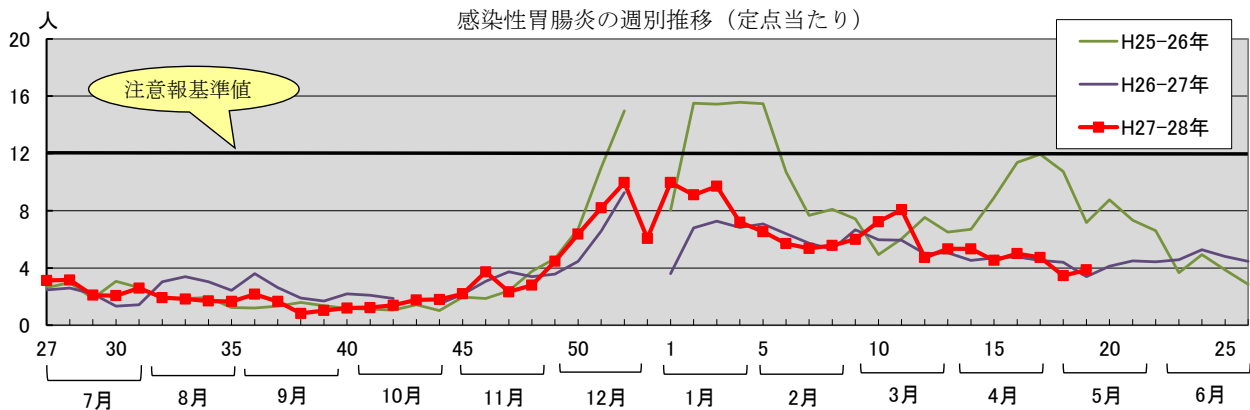
○流行性耳下腺炎 第19週： 0.53 (注意報値：3.00 警報値：6.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.53(前週:0.70)と減少しています。須崎 3.00(前週:1.50)、中央西 1.00 (前週:0.33) で増加し、須崎では注意報値を超えています。



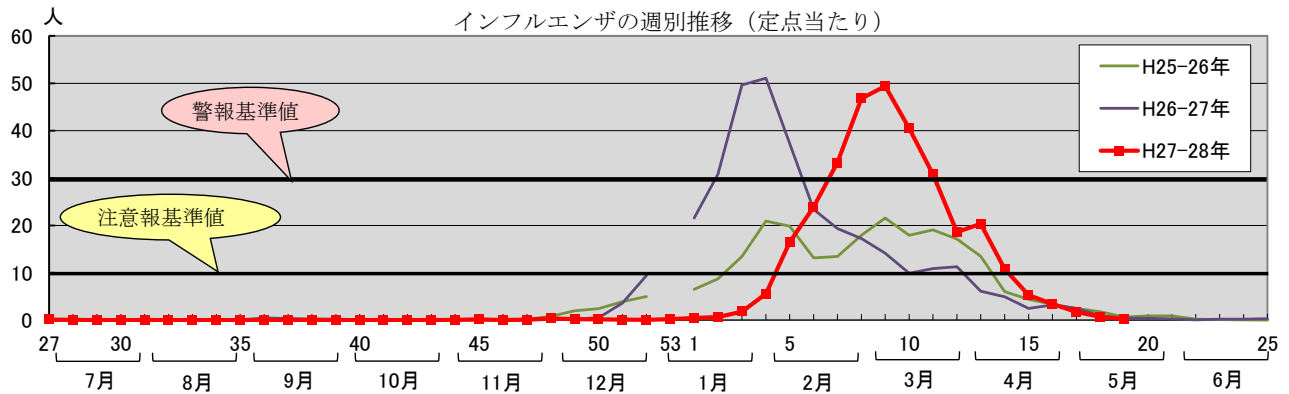
○感染性胃腸炎 第19週： 3.87 (注意報値：12.00 警報値：20.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 3.87(前週:3.47)とほぼ横ばいです。安芸 5.50(前週:3.00)、中央東 5.14 (前週:3.14)、高知市 5.00 (前週:4.45)、須崎 3.00 (前週:2.50) で増加しています。



○インフルエンザ 第19週： 0.25 (注意報値：10.00 警報値：30.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.25 (前週：0.69) と急減しています。安芸 0.50 (前週：0.25) で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、今週よりグラフ横軸に第53週を挿入しています。そのため、H25-H26年とH26-H27年のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
19	インフルエンザ	49	女	須崎	Influenza virus B/Yamagata
19	百日咳	6	男	幡多	<i>Bordetella pertussis</i>
19	百日咳	12	男	幡多	<i>Bordetella pertussis</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
15	-	3ヶ月	男	中央東	Rhinovirus
16	不明発疹症	7	女	須崎	Human herpes virus 7
16	感染性胃腸炎	4ヶ月	女	安芸	Rhinovirus <i>Enteraggregative Escherichia coli O126 : H27 aggR</i>
17	不明発疹症	1	男	須崎	Cytomegalovirus
17	不明発疹症	1	男	須崎	Human herpes virus 6

★全数把握感染症

第19週

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	41	60歳代女	中央東
		1	42	80歳代女	安芸
4類	日本紅斑熱	1	5	50歳代男	安芸
5類	水痘	1	1	40歳代男	高知市
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	11	80歳代男	高知市

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報	
安芸	田野病院小児科	ヒトメタニューモウイルス感染症1例（2歳女）	
中央東	あけぼのクリニック	ヒトメタニューモウイルス感染症1例（4歳）	
		RSウイルス感染症2例（10ヶ月、11ヶ月）	
		マイコプラズマ感染症1例（6歳）	
		ロタ腸炎1例（3歳女）	
	高知大学医学部附属病院小児科	カンピロバクター腸炎1例（1歳男）	
高知市	おひさまこどもクリニック	アデノウイルス咽頭炎/扁桃炎3例（9ヶ月、1歳、2歳）	
		アデノウイルス扁桃炎4例（0歳女、1歳男女、3歳男）	
	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎3例（5歳女、7歳男、9歳男）	
		ロタウイルス腸炎1例（5歳男）	
		カンピロバクター腸炎5例（8歳男、9歳男、11歳男、14歳女、20歳男）	
		病原性大腸菌0-25腸炎1例（12歳女）	
		百日咳2例（8歳男、15歳男2人ともPT-IgG160EU/ml以上）	
		細木病院小児科	ロタ1例（1歳男）
		高知医療センター小児科	RSウイルス感染症3例（4ヶ月男女、10ヶ月男）
	サルモネラ1例（5歳男）		
	カンピロバクター1例（6歳男）		
	A群レンサ球菌1例（2歳男）		
	ロタウイルス感染症1例（1歳女）		
病原性大腸菌1例（3ヶ月男）			
中央西	石黒小児科	単純ヘルペス1例（30歳女）	
		水痘1例（4歳女：水痘ワクチン1回接種済み）	
	日高クリニック	百日咳1例（43歳女 PT-IgG386）	
		ヒトメタニューモウイルス感染症4例（4ヶ月男、1歳男、2歳男、3歳女）	
		マイコプラズマ肺炎1例（17歳男）	
		アデノウイルス扁桃炎1例（1歳女）	
		ヘルペス性歯肉口内炎1例（3歳男）	
須崎	もりはた小児科	ロタウイルス胃腸炎3例	
		アデノウイルス感染症1例（2歳男）	
幡多	さたけ小児科	ヒトメタニューモウイルス感染症1例（4歳男）	
	幡多けんみん病院小児科		

■ジカウイルス感染症の定義と発生届について

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行令が一部改正され、平成 28 年 2 月 15 日からジカウイルス感染症が全数報告の対象となる四類感染症となりました。診断した医師は直ちに最寄りの保健所又は福祉保健所に届け出ることをお願いします。

●国立感染症研究所 ジカウイルス感染症のリスクアセスメント 2016 年 5 月 13 日更新

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/>

●厚生労働省検疫所 海外感染症情報

<http://www.forth.go.jp/index.html>

●外務省 海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

●国立国際医療研究センター ジカ熱/ジカウイルス感染症 2016 年 5 月 11 日更新

<http://www.dcc-ncgm.info/topic/topic-ジカウイルス感染症/>

●ジカウイルス感染症 定義（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou11/01-04-44.html>

●ジカウイルス感染症 発生届様式（PDF）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou11/pdf/01-04-44b.pdf>

●ジカウイルス感染症について（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

★全国情報

第16週（4月18日～4月24日）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核375例

3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症18例、腸チフス1例、パラチフス1例

4類感染症：E型肝炎8例、A型肝炎4例、ジカウイルス感染症1例、デング熱7例、日本紅斑熱7例、ボツリヌス症1例、マラリア1例、レジオネラ症17例

5類感染症：アメーバ赤痢15例、ウイルス性肝炎3例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症12例、急性脳炎7例、クリプトスポリジウム症1例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症7例、後天性免疫不全症候群18例、侵襲性インフルエンザ菌感染症2例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症34例、水痘（入院例に限る）3例、梅毒59例、播種性クリプトコックス症2例、破傷風3例、風しん1例、薬剤耐性アシネトバクター感染症1例

報告遅れ：E型肝炎2例、つつが虫病1例、デング熱1例、マラリア1例、レジオネラ症3例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症7例、急性脳炎8例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例、梅毒31例、播種性クリプトコックス症1例、風しん4例

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第19週 平成28年5月9日(月)～平成28年5月15日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第19週							計	前週	全国(18週)	高知県(19週末累計)		全国(18週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H28/1/4～H28/5/15				H28/1/4～H28/5/8			
インフルエンザ	インフルエンザ		2	1	4	2	3		12 (0.25)	33 (0.69)	6,108 (1.24)	14,910 (310.63)	1,572,768 (317.80)			
小児科	咽頭結膜熱			1	4			2	7 (0.23)	2 (0.07)	1,277 (0.41)	54 (1.80)	19,244 (6.10)			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	17	17	11	1	8	55 (1.83)	44 (1.47)	5,205 (1.65)	1,333 (44.43)	150,691 (47.73)				
	感染性胃腸炎	11	36	55	3	6	5	116 (3.87)	104 (3.47)	13,749 (4.37)	3,523 (117.43)	365,982 (115.93)				
	水痘			5	2		3	10 (0.33)	15 (0.50)	1,206 (0.38)	136 (4.53)	22,556 (7.14)				
	手足口病		1	2				3 (0.10)	()	184 (0.06)	14 (0.47)	1,988 (0.63)				
	伝染性紅斑		1	2	1		1	5 (0.17)	3 (0.10)	898 (0.29)	109 (3.63)	27,930 (8.85)				
	突発性発疹		6	4	1		2	13 (0.43)	5 (0.17)	1,390 (0.44)	161 (5.37)	23,311 (7.38)				
	百日咳				3	1		2	6 (0.20)	()	35 (0.01)	35 (1.17)	744 (0.24)			
	ヘルパンギーナ				2			2 (0.07)	1 (0.03)	174 (0.06)	14 (0.47)	1,234 (0.39)				
	流行性耳下腺炎				2	3	6	5	16 (0.53)	21 (0.70)	2,407 (0.76)	306 (10.20)	46,814 (14.83)			
RSウイルス感染症			4	3			1	8 (0.27)	5 (0.17)	349 (0.11)	567 (18.90)	21,683 (6.87)				
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	14 (0.02)	()	152 (0.22)				
	流行性角結膜炎				2			2 (0.67)	1 (0.33)	405 (0.59)	8 (2.67)	7,718 (11.20)				
基幹	細菌性髄膜炎		1					1 (0.13)	()	12 (0.03)	1 (0.13)	150 (0.32)				
	無菌性髄膜炎							()	1 (0.13)	17 (0.04)	4 (0.50)	328 (0.69)				
	マイコプラズマ肺炎				8			8 (1.00)	5 (0.63)	204 (0.43)	83 (10.38)	4,281 (9.03)				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							()	()	4 (0.01)	23 (2.88)	144 (0.30)				
	感染性胃腸炎		2	2				4 (0.50)	3 (0.38)	228 (0.48)	223 (27.88)	4,086 (8.62)				
計(小児科定点当たり人数)	14 (6.50)	70 (9.51)	115 (9.23)	24 (7.73)	16 (7.25)	29 (5.80)	268 (8.28)			33,866	21,504 (519.03)	2,271,804				
前週(小児科定点当たり人数)	8 (3.75)	35 (4.73)	113 (8.95)	18 (5.60)	22 (9.75)	47 (9.03)		240 (7.37)								

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関)定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第19週							計	前週	全国(18週)	高知県(19週末累計)		全国(18週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H28/1/4～H28/5/15				H28/1/4～H28/5/8			
インフルエンザ	インフルエンザ		0.50	0.09	0.25	0.40	0.75		0.25	0.69	1.24	310.63	317.80			
小児科	咽頭結膜熱			0.14	0.36			0.40	0.23	0.07	0.41	1.80	6.10			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	2.43	1.55	3.67	0.50	1.60	1.83	1.47	1.65	44.43	47.73				
	感染性胃腸炎	5.50	5.14	5.00	1.00	3.00	1.00	3.87	3.47	4.37	117.43	115.93				
	水痘			0.45	0.67		0.60	0.33	0.50	0.38	4.53	7.14				
	手足口病		0.14	0.18				0.10		0.06	0.47	0.63				
	伝染性紅斑		0.14	0.18	0.33			0.20	0.17	0.10	0.29	3.63	8.85			
	突発性発疹		0.86	0.36	0.33		0.40	0.43	0.17	0.44	5.37	7.38				
	百日咳			0.27	0.33		0.40	0.20		0.01	1.17	0.24				
	ヘルパンギーナ			0.18				0.07	0.03	0.06	0.47	0.39				
	流行性耳下腺炎			0.18	1.00	3.00	1.00	0.53	0.70	0.76	10.20	14.83				
RSウイルス感染症		0.57	0.27				0.27	0.17	0.11	18.90	6.87					
眼科	急性出血性結膜炎									0.02		0.22				
	流行性角結膜炎			2.00				0.67	0.33	0.59	2.67	11.20				
基幹	細菌性髄膜炎		1.00					0.13		0.03	0.13	0.32				
	無菌性髄膜炎								0.13	0.04	0.50	0.69				
	マイコプラズマ肺炎			1.60				1.00	0.63	0.43	10.38	9.03				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0.01	2.88	0.30				
	感染性胃腸炎		2.00	0.40				0.50	0.38	0.48	27.88	8.62				
計(小児科定点当たり人数)	6.50	9.51	9.23	7.73	7.25	5.80	8.28				519.03					
前週(小児科定点当たり人数)	3.75	4.73	8.95	5.60	9.75	9.03		7.37								

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869